国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 25 年 7 月 31 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高　公久
電話番号　　03-5572-0233

スリナム共和国 Block31 鉱区権益の一部譲渡について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社子会社の帝石スリナム石油株式会社（以下、同社）を通じて、スリナム共和国海上 Block31 鉱区にてオペレーターとして探鉱作業を実施しておりますが、このたび、英国の独立系石油・天然ガス開発会社であるタロー社へ、同社保有権益 100%の一部（30%）を譲渡することといたしましたので、お知らせいたします。なお、今回の権益譲渡は、スリナム政府の承認を含む権益譲渡契約上の先行条件充足が契約発効の条件となります。

＜鉱区位置図＞



国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

本鉱区は、スリナム共和国首都パラマリボの北方約 90km の海上に位置し、水深は約 30～90m、鉱区面積は 5,560km² です。当社は、2007 年に鉱区権益を取得後、2008 年よりオペレーターとして三次元物理探鉱や試掘井掘削等の探鉱作業を実施しております。本鉱区では、さらに本年 6 月より三次元物理探鉱作業を実施中であり、その後 2015 年には試掘井掘削などの探鉱作業を予定しております。

スリナム周辺海域は、近年本格的な探鉱活動が活発化してきているフロンティアエリアですが、これまでの探鉱活動において油ガス徴が多数確認されており、本鉱区周辺海域は今後の石油・天然ガスの発見が期待される有望なエリアです。

タロー社との共同事業は、モザンビークとウルグアイにおける探鉱プロジェクトに続くものですが、今回のタロー社への権益譲渡により、南米やアフリカのフロンティア地域を中心として積極的に探鉱作業を実施しているタロー社との更なるパートナーシップ強化が期待されます。

なお、本件による当社連結業績への影響は、軽微です。

以上

<鉱区の概要>

鉱区面積：	5,560km²
水深：	30～90m
鉱区位置：	スリナム沿岸部
権益比率：	帝石スリナム石油㈱： 70%（オペレーター） タロー社： 30%